

# 豊中 NO！カジノ/ガールズスタンディング（10月4日） 総勢 16 人で「カジノや万博に私達の血税を使うな！」

今日は「夢洲カジノを止める会豊中・池田・箕面」とコラボで豊中駅人工広場でスタンディングをしました。勉強会の帰りというグループも合流してくださり、なんと総勢16人という人数で250枚のチラシを撒きました。いつも元気良くアピールしてくれる方がお休みでしたが、歌あり、漫才あり、アピールも次々と続き役者が揃っています。

「私は行かないからいい」という女性に「私達の税金が使われるのですよ」と説明すると、「だったら反対やわ」とチラシを受け取り。カジノに税金が使われることを知らない方もおられました。「夢洲は土壌も悪いしカジノも万博もやったらアカン」と言われる男性。

また、中年の女性は「万博は反対やけどカジノは賛成。世界中を回ってカジノを見てきたから」と言って万博中止の署名だけして行かれる方もおられました。



9月28日大阪府市とカジノ事業者は正式な契約に当たる実施協定を締結しました。今回締結された実施協定ではカジノ事業者が違約金無しでいつでも撤退できる「解除権」が認められており、2026年9月まで3年間違約金無しでいつでも事業から撤退できるようになっています。まさに不平等条約です。

その契約解除の条件には、例えば地盤沈下や液状化、土壌汚染等の土地課題対策ができていないこと。カジノ管理委員会規則が厳しすぎて事業の運営に悪影響を与えないこと。その他、事業に悪影響を与える事象が生じていないこと等何でもありです。

何でもありの解除条件で違約金無しでいつでも撤退できる。要するにカジノ事業者は本当に夢洲でカジノをするかどうか様子を見ているのです。それなのに、大阪府市は788億円の税金を投入して、この秋から液状化対策の工事を開始しようとしています。これはまさにバクチ行政で、まともな自治体のすることではありません。そもそもバクチに行政が加担し、税金を投入すること自体あってはなりません。



府民主権 夢洲IR・カジノ公聴会

10月8日(日)12:30~16:30 大阪府市野区民センターホール (650人) 手帳通訳(予定)

一政府と大阪府市、大阪府民による「双方向の対話の場」一

2025年4月、国と夢洲IR・カジノ事業者が「協定」を結ぶ。ただし、これは「国と府民とが対話した上で協定の条件を定めるべき」との前提を欠いた「一方的な決定」です。しかも、協定の条件は「協定」の前提です。このままでは、大阪府市とカジノ会社が協定を結ぶことになります。そして、協定は「協定」の前提です。そこで、主要な問題点について府民の意見を聴いて、協定に反対する府民の意見を大阪府市に届けるため、「対話による協定」・「対話による協定」を開催します。国と府民、府民と府民との対話を通じて、協定の前提を定めること、府民の声を届けてください。

12:00 開場

12:30 開会挨拶

12:35 質疑・応答

12:45 公聴会参加者による意見発表

13:05 公聴会参加者による意見発表

13:25 公聴会参加者による意見発表

13:45 大阪府市・議員などによる公聴会

14:15 休憩・換気

14:25 質疑・応答

14:45 公聴会参加者による意見発表

15:05 質疑・応答

16:25 定例会議の閉会

資料代 500円(上記を除く) 学生無料

申し込み 夢洲IRを止める会大阪府民の会

ホームページ https://yosakaf.net/

問い合わせ 090-8536-3170(ju11)

治体のすることではありません。そもそもバクチに行政が加担し、税金を投入すること自体あってはなりません。

万博の経費もうなぎ登りに高くなっています。  
税金は国民の命と暮らしに使うべきです。  
カジノや万博に私達の血税を使うな！

10月8日の日曜日 12時30分から  
大阪市生野区民センターホールで  
府民主権夢洲IR・カジノ公聴会が開催されます。  
ふるって参加しましょう！